

中国におけるジャンボ剤の開発について —平成11年度 水稻除草剤中央判定会議での報告—

中国農業部農薬検定所 顧 宝 根

皆さん こんにちは。

まず、財団法人日本植物調節剤研究協会、特に吉沢顧問の招きで、ここで報告する機会を与えられたことについて感謝の意を表します。

私は中国農業部農薬検定所の者で、当検定所は中国における農薬の審査登録を行う機関です。私自身が農薬の薬効・薬害の試験を担当しているため、今日の会議に参加して非常に親しみを感じております。中国でも2年に一度このような会議が開かれますが、全国から400人位の試験担当者が参加します。

中国農業部農薬検定所と(財)日本植物調節剤研究協会は10年余り雑草防除技術交流を行っております。この交流は双方の友好と技術交流を促進したばかりでなく、中国雑草防除技術の向上に貢献しました。ここ数年中日双方は二つの重要な事業を進めております。一つは『中国雑草原色図鑑』の刊行、もう一つは中国におけるジャンボ剤(大粒剤)の試験です。

『中国雑草原色図鑑』は800種に及ぶ雑草の資料が載せられ、現在中国及び世界で内容が最も豊富な図鑑だと思います。図鑑の発行は中日双方の技術交流の最も大きい成果の一つであり、友好の象徴であり、中国雑草防除の歴史に重要な1ページを残すことと思います。(財)日本植物調節剤研究協会と企業の諸社からは当図鑑の出版に多くの協力と資金面での支援を頂きまし

た。ここに中国側を代表して感謝の意を表します。

1998年から中国でジャンボ剤の試験を行いました。ジャンボ剤は全く新しい除草剤で、偉大な発明であります。それは除草剤使用技術の革命を意味するものだと思います。これからはスーツ姿でも除草剤を散布することができ、「スーツ農民」も現れるでしょう。

ここで1998年、1999年2年間にわたる中国での試験状況を簡単に紹介したいと思います。

試験は中国5つの省で5種類のジャンボ剤について2年間行いました。試験地は、黒龍江省、遼寧省、江蘇省、湖南省と広東省で、薬剤はNC-392, NC-311, SW-985, SW-994, IL-9901, IL-9902です。試験結果は次の通りです。①ジャンボ剤の拡散性は良い。拡散速度が早く、均一に拡散します。我々は中国で拡散の様子を写真に撮りましたが、時間の関係で皆さんに見せることができません。②使い安く、時間と労力を節約することができます。9分間で1ム(6.6a)の面積を処理することができるので農民達も歓迎します。③除草効果が良く、防除対象範囲が広い。(防除できる雑草種類が多い。)2年間の試験から見て防除効果は非常に良いことが分りました。ジャンボ剤の試験とノビエ、タウコギ等の雑草に対する防除率が100%に達した試験区もありました。全体的防除

率も90%~95%以上でした。中国で使われている除草剤に比べた場合、除草効果は同等或はさらによい結果が得られました。それ故、ジャンボ剤の除草効果は評価できます。④安全性問題について、水稻に対する薬害は見られず、安全性が高いです。⑤各試験区の収量調査の結果、ジャンボ剤は無処理区に比べ増収効果があることが分かりました。⑥技術者と農民の歓迎を受けています。農民からどこでジャンボ剤が買えるか聞かれます。

2年間の試験だけで新しい薬剤の特徴を完全に把握することは不可能です。試験過程で私共は、ジャンボ剤の有効成分と剤量を中国の異なる地域の実状に合致しなければならない問題に直面しました。中国は面積が大きく、各地の差が大きいからです。しかし、全体から見て、ジャンボ剤は大きい発展性があります。そのため、日本側が早く中国の会社と協力して中国でジャンボ剤を生産することを希望しております。私

共農薬検定所もジャンボ剤の中国における登録を早く進め、ジャンボ剤が早く中国で普及し、農民の役に立つようにしたいと思っています。同時に、(財)日本植物調節剤研究協会と続けて交流を行い、他の新技術を中国に導入したいと思っています。

ジャンボ剤は中国で大きい市場をもっています。その理由は、ジャンボ剤は中国の農民に歓迎されるもので、更に中国は巨大な市場を有しているからです。中国には3,000万haの水稻面積があり、例えばジャンボ剤の使用面積が1%を占められるだけで30万haになります。1ムー(6.6a)あたり1元(約13円)の利益を得たとしても450万円の利益が得られます。だから中国におけるジャンボ剤の市場を早く開発しなければなりません。

最後に皆さんにぜひ中国に来て見て下さい。
ありがとうございました。

1999年12月9日

